

NO.	63	講座形式		体験型		
講 座 名	エコ三木チャレンジ実験教室					
分 野	メインの分野	地球温暖化防止	リサイクル・廃棄物	生物多様性・自然保護	森林保全・緑化	大気環境保全
	環境全般	○				
	水環境保全	化学物質対策	環境全般	地域環境管理	消費・生活	その他
		○	○			
対 象 者	幼稚園・保育園	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学生	高校生	大学生
	○	○	○	○	○	
	一般	企業・事業所	対象 その他			
	○					
参加可能人数	10名～50名		実 施 時 間	依頼者と相談の上、項目を決定し、90分を標準とする		
目 的	温暖化防止活動を始めとした環境問題全般についての啓発が目的である					
プ ロ グ ラ ム 内 容	①エコの木ダイアログ：あなたは環境にいいどんなことをしていますか？ ①紙芝居とお話：「ムダヤシキ」「ぼくはアキカン、からのかん！」「きょう食べ物どこから来たの？」「集められた古紙(雑誌・広告など)は、どのようにしてどうなるの？」「ごみの分別ゲーム」などたくさんあります。 ②工作：牛乳パックを使ったトレー、アクリルたわし、風呂敷の包み方、どんぐりでコマづくり、お魚エレベーター、ケナフのストラップなど ④理科の実験：自然エネルギーの実験工作、光の実験とあそび(忍者えのぐで紫外線を感じよう、箱の中の虹を見よう)					
申 込 者 側 で 用 意 し て い た だ く も の	机、椅子、スクリーン				申 込 者 の 材 料 費 等 負 担	
条 件 ・ 注 意 点						
代 表 講 師 氏 名	渡辺 雄一（代表）					
代 表 講 師 経 歴	1931 年生まれ ■資 格：理学博士、環境カウンセラー、化学物質アドバイザー、兵庫県地球温暖化防止活動推進員、IPCC リポートコミュニケーター ■専門分野：化学物質問題(生活と化学物質、化学物質のリスクコミュニケーション)、その他環境問題一般(温暖化・エネルギー、循環型社会、食料問題) ■活動内容：NPO 法人人と化学をむすぶ会、NPO 法人環境21の会、エコ三木などを活動基盤として、実験を交えた環境教育・啓発活動を行っている。IPCC 第5次報告書の勉強会に参加している。					
そ の 他 ス タ ッ フ	渡辺 雄一、谷田 寿子（講師）米林 忠彦、松本 弘					
メ ッ セ ー ジ	環境問題全般について、優しく話すことを心がけている。とくに、子供の理科ばなれが危惧される昨今科学実験型出前講座を目指している。化学物質に対して、不安と不信をもっている人たちとのコミュニケーションの機会を求め、安心と安全な社会の構築に貢献したいと思っている。一方、温暖化が進んだ環境問題について基礎知識の吸収に努めている。					